

第2章 人口動態統計

人口

管内の人口は132,852人で、平成23年と比べ961人減少した。自然増減数は▲604人であり、過去11年減少が続いている。

出生

出生数は、1,065人で平成23年と比べ57人増加した。管内の出生率(人口千対)は8.0で岐阜県(8.1)で、全国(8.2)と比較し低い。

低体重児出生数(2,500g未満)は115人、出生率(出生百対)は10.8で、全国(9.6)及び県(9.5)と比較し高い。

死亡

死亡数は、1,669人で平成23年と比べ11人減少した。管内の死亡率(人口千対)は12.6となっており、全国(10.0)、県(10.6)と比較し高い。

死因別順位では、第1位が悪性新生物(人口10万対死亡率316.1)で第2位が心疾患(204.0)、第3位が脳血管疾患(135.5)となっている。

乳児死亡

乳児死亡数は2人、乳児死亡率(出生千対)県は1.6であるのに対し、管内は1.9であった。全国(2.2)と比較してやや低い。

死産

死産数は18人、死産率(出産千対)は16.6であった。全国(23.4)、県(21.1)と比較して低い。特に人工死産率(出産千対)が、管内6.5と、全国(12.6)、県(10.6)と比較して低い。

婚姻

婚姻件数は593組で婚姻率(人口千対)は4.5であった。婚姻率は、全国(5.3)、県(4.7)と比較しやや低い。

離婚

離婚件数は181組で離婚率(人口千対)は1.36であった。離婚率は、全国(1.87)、県(1.63)と比較し低い。